

『ボランティアで砂利を散布』

3月23日(水)、スポーツ少年団大崎空手会では、日ごろ練習会場として使用している菱田小学校駐車場に、ボランティアで砂利を散布しました。

大崎空手会では、毎週月曜日は菱田小学校、水・金曜日は大崎町総合体育館で練習を行っています。

砂利散布は、指導者の鮫島光一さん、菱田小学校教頭先生、ほか11人で行われ、水たまりなどの解消に役立っており、たいへん喜ばれているようです。



『町立大崎保育所が民間移管に』

3月25日(金)、大崎町役場において、町立大崎保育所の運営移管の調印式が行われました。

移管先は、社会福祉法人南光福祉会で、移管後の名称は、『大崎保育園』となります。4月1日から新たにスタートした当園では、午後7時までの延長保育を取り入れています。

理事長の濱上正信さんは、「これまで培ってきたノウハウを生かしながら、今まで以上にしっかりとした保育運営に取り組んでいきたい。」と話されました。

『宝くじ助成金で和太鼓を購入！』

平成16年度コミュニティ助成事業(宝くじ助成金)で和太鼓6台を購入しました。

この事業は、財団法人自治総合センターが、宝くじの普及広報事業費として受け入れる宝くじ受託事業収入を財源とし、コミュニティ活動に助成を行うことにより、コミュニティの健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報活動事業を行うものです。

今回は、長胴太鼓(2尺)1台、平胴太鼓(1尺8寸)2台、かつぎ桶太鼓(1尺5寸)3台の合計6台です。

太鼓は、中学生、高校生クラブ、青年団等多くの人たちに利用されており、今回の購入により和太鼓の組み合わせも多くなることから、演奏についてもこれまで以上に幅の広いものができるものと期待されます。

